



上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

<http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/>

No.463

令和元年度

学校だより 3月号

中野区立上鷺宮小学校

校長 堀 聡明

TEL 3926-6381

ご理解ご支援に感謝申し上げます

校長 堀 聡明

「ユズリハ（譲葉）」という木があります。この名前は、普通の広葉樹とは異なり、若葉が伸びてから古い葉が落ちることが由来だそうです。このことを、親が成長した子供に後を譲ることに例えて、おめでたい木とされ、古くから正月飾りに使われ、万葉集にも登場します。学校では、代替わりを準備すると共に年度を締めくくる3月を迎えます。そこで、かつて国語の教科書に掲載された「ゆずり葉」という詩を紹介합니다。

ゆずり葉

子供たちよ
これはゆずり葉の木です
このゆずり葉は
新しい葉が出来ると
入り代わってふるい葉が落ちてしまうのです
こんなに厚い葉
こんなに大きい葉でも
新しい葉が出来ると無造作に落ちる
新しい葉にいのちをゆずって—
子供たちよ
お前たちは何をほしがらないでも
すべてのものがお前たちにゆずられるのです
太陽のまわるかぎり
ゆずられるものは絶えません
かがやける大都会も
そっくりお前たちがゆずり受けるのです
読みきれないほどの書物も

河合酔茗

みんなお前たちの手に受け取るのです
幸福なる子供たちよ
お前たちの手はまだ小さいけれど—
世のお父さん、お母さんたちは
何一つ持ってゆかない
みんなお前たちにゆずってゆくために
いのちあるもの、よいもの、美しいものを、
一生懸命に造っています
今、お前たちは気が付かないけれど
ひとりでのいのちは延びる
鳥のようにうたい、
花のように笑っている間に気が付いてきます
そしたら子供たちよ
もう一度ゆずり葉の木
の下に立って
ゆずり葉を見るときが
来るでしょう

未来を担う子供たちに向けて、私達大人が残すべき世の姿を思い描くとき、非常に重い責任を感じます。

いよいよ3月、有終の美を飾る月です。それぞれの学年の子供たちが4月に比べると体も大きくなり、次の学年になる心の準備をしているように見えます。特に6年生は卒業と中学入学に向けて、期待と不安に胸ふくらませています。残された小学校での日々を充実して過ごしてほしいと願っています。

保護者の皆様、地域の方々には、お世話になりました。来年度も、「考える子 思いやる子 やりぬく子」の育成を目指し教職員一丸となって取り組んでいきます。

この1年間、教育活動へのご理解ご支援に感謝いたします。ありがとうございました。

3月の生活目標

1年間のまとめをしよう